

第3回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

令和4年3月10日(木) 開催

「白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会」では、高齢者が自宅での療養が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられることを目指して、様々な課題の解決に向けた検討を行っています。協議会議事録については、市ホームページにてご覧いただけます。

●● 第3回協議会の主な内容 ●●

- ・ 課題別ワーキングの取組み報告、徘徊保護高齢者への対応実績報告を行いました。
- ・ 在宅医療後方支援制度の実績報告を行いました。
- ・ 救急医療情報シートの見直し案について協議しました。

「救急医療情報シート」の見直し内容が決定

今年度、在宅医療・救急医療連携ワーキングにて救急医療情報シートの見直しについて検討しました。主な変更点は、救急活動現場で必要とされる情報項目（介護度区分や過去の救急搬送情報、訪問診療医の連絡先、延命治療についての本人の意向など）を加えた点です。

協議会では、見直し案について話し合わせ、多少の修正を加える形で見直しについて承認が得られました。

今後は、見直しされたシートの普及に向けて医療・介護関係者や市民への周知に取り組んでいきます。



次年度の検討体制について



令和3年度の検討体制（左図）のうち、市民啓発WGを休止し、「感染症・災害時対応」をテーマに検討するWGを新設する予定です。

トピックス ICTを活用した「多職種連携情報共有システム」の運用開始から1年経過

2021年3月に導入したシステムの運用開始から1年が経ちました。在宅医療を受ける患者さんを支援する多職種の皆さんが、効率的に情報共有が行えるツールとして、市内・市外の事業所（約50か所）に利用していただいています。今後も、利用の拡大に向けてシステム利用説明会の開催などに取り組んでいきます。